

筆の里と棟方志功

棟方志功(1903(明治36年)~1975(昭和50年))は、日本のみならず国際的に認められた板画家です。志功は熊野の筆匠に好みの筆を作ってもらったため、筆の絵を描き、毛質や大きさなどの特徴を指示した筆の注文書簡を送っています。

今回、初公開の広島電鉄コレクションの版画作品を通して志功と筆の里との交遊を紹介します。

期間 7月12日(水)



「女人鷹の柵」棟方志功
広島電鉄(株)蔵

筆の里
ありがとうの
絵てがみ記念展

作品公募「筆の里ありが

とうのちよつと大きな絵てがみ大賞」の第10回を記念して、過去9回にわたる公募の中で「ありがとう大賞」に選ばれた作品と、子ども大賞、特別賞など厳選した作品約30点を紹介します。

期間 7月12日(水)

相田みつを展

栃木県足利市に生まれた相田みつを(1924(大正13年)~1991(平成3年))は、自分の言葉での書表現を追求して独自のスタイルを確立した書家です。

生涯、自分自身を真摯に見つめ、そこから発せられた言葉によるみつをの書は、今なお多くの人々の心を捉えて離しません。

老若男女問わず、誰もが一度は感じたり、考えたりしたことのある共感できる作品に出会えるはずです。

「言葉」と「書」がスト

レートに心に訴えかける感動空間へ、子ども達と一緒に、一人癒しを求めて、あなたの大切な人と...お出かけください。

期間 7月15日(土)~9月3日(日)



©相田みつを美術館

講演会

「父、相田みつをを語る」

講師 相田一人

(相田みつを美術館館長)

とき 7月15日(土)

午後1時半~3時

聴講料 無料(要入館料)

◆ギャラリートーク

講師 相田一人

(相田みつを美術館館長)

とき 7月15日(土)

①午前11時~②午後3時半
聴講料 無料(要入館料)

入館料	大 人	500円
	小中高生	250円
	幼児	無料
※PAL会員は無料です		

人物画素描教室

人物画は絵画の基本テーマです。作品の下絵など目的に応じてデッサンやクロッキーをしてみませんか?初心者でも丁寧に指導します。

とき 7月23日(日)

午前10時~午後4時

参加費 2千500円(入館料込)

講師 松村 卓志

(美術研究員)

モデル 20代女性

持参物 描画道具(鉛筆・木炭・コンテ・パステルなど)、スケッチブック、消しゴム

定員 20名(要申込)

広報クイズ

2006年7月

正解者の中から図書カードプレゼント!!

問題 今年は、ふで娘を募集します。「ふで娘」は何をPRしていくのでしょうか?(ヒントP12)

①禁煙

②第3次行政改革大綱 実施計画プラスワン

③筆まつりや筆など熊野町の観光について

応募方法

ハガキに回答、住所、氏名、年齢、電話番号と必ず

広報紙に対する意見なども記入のうえ、企画課へ必ず郵送で送付。

正解者の中から、抽選で

お一人の方に図書カード

(500円分)が当たります。

応募締切 7月21日(金)

(消印有効)

6月号「広報クイズ」

答え ②

当選者 森井清子さん

(石神)

問合せ先

企画課 情報推進係

TEL 820-5602

TEL 820-5602

TEL 820-5602